

校内研修計画

甲州市立玉宮小学校

1 学校課題

子どもたちは明るく素直で、個性を發揮しながら元気に学校生活を送っている。本年度は6名の新入児童を迎え、ほとんどの学年が6名で、低学年が児童数の半数以上を占めている。全校児童28名の小規模校であり、6年生がいないこともあってその部分を5年生が中心となって企画・運営をしなければならない。児童会を中心とするさまざまな活動を通して、学年の枠をこえての交流が多く、上級生が下級生の面倒をよく見ている。休み時間や放課後にも異学年で元気に遊ぶ姿が見られる。

小規模校のよさとして、学校行事や児童会活動等において、「児童・生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい」、「児童相互の人間関係が深まりやすい」、「異学年間の縦の交流が生まれやすい」がある。小規模校の課題として、「集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」、「クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい」がある。それらデメリットへの対応としてICT機器の導入を図り、他校との交流授業やiPadの活用を通して伝え合う力の育成に取り組んできた。これからは、情報機器を活用することはもちろんだが、子ども一人一人が主体的に思考、判断、表現できる場の設定や子どもの考える力を伸ばしていく指導方法の工夫が必要である。

2 研究主題

個を高める 確かな学力の育成

～ 少人数学級での主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ～

3 主題設定について

新しい情報通信機器が急速に普及しライフスタイルが大きく変化してきている。AI、IoTなどの科学技術の飛躍的な進歩にともなって、生活の便利さや快適さが増し、生活環境の整備が急速に進む中で、社会のあらゆる領域でグローバル化の波が押し寄せている。これからの変化の激しい社会の中で、社会とどのように向き合い、どのような資質・能力を育成していくべきか、また、一人一人が幸福な人生を生きるためには、どのような力を育てていくべきかについて考えることが必要である。時代の変化に対応していくためには、知識・技能を身につけるだけでなく、それらを自分らしく、自在に活用して様々な問題解決に役立てる力、目標を立てて学び続ける姿勢が大切である。

本校の子どもたちは伸び伸びとしており、上級生と下級生の異年齢でのつながりが濃くなり、上級生が下級生に声かけをしたり、面倒をみたり自然にできるような関わりができています。しかし、小集団であるために思考し考えを高めていく点においては、いつも同じ考えや方法になってしまう傾向にある。学校の集団が小さいので、大集団の中に入っても課題意識を持って自らの力で考え、判断し、解決していこうとする問題解決力や、進んで表現しようとする主体的な態度を伸ばしていくことが必要である。また、様々な人と関わり合うことでお互いに伸びる力を育てていくことが求められている。そこで、個々の実態を丁寧に分析し、柔軟な個別指導を取り入れながら、本校の少人数学級に適した深い学びの授業づくりについて研究を進めることとした。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 授業研究

- 児童の実態把握
- 主体的・対話的で深い学びの授業
- ICTを活用した学習

(2) 児童の実態の把握

- 山梨県学力把握調査の結果の分析
- 「h-QU」による各学年の児童の実態把握

(3) 理論研究

- 講師を招いての理論研究

- 各種研修内容の還流報告（道徳，特別支援教育，学力調査，外国語）
- インターネット講義による研修
- (4) 地域学習
 - 地域の学習内容について検討
 - 地域学習の学習方法
 - 玉宮のすばらしさを再確認できるように地域に発信する方法
- (5) 学習規律・習慣の確立
 - 「h-QU」を生かした学級集団づくり
 - 「学習の約束」の検討・取り組み
 - 家庭学習への取り組み
 - 朝学習の時間の有効活用
 - 表現力アップへの取り組み
 - 学習ノートの取り組み

年間校内研修計画

滝島 正彦

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	TC要請
研究の方向性の確認 学校課題・研究主題・主題設定の理由		滝島			
研究の方向性の決定・予定の確認 継続的な取り組み		滝島			
「確かな学力」 育成プロジェクトの取り組みについて		滝島			
iPadの使い方，edutabの使い方	I C T 活用	各担当			
特別支援教育について【還流報告】 特別の教科道徳についての【還流報告】		川崎 中村			
h-QUの結果をもとに 今後の取り組みについて検討			全		
学習会 「特別支援教育について」について		滝島		5月	○
県学力把握調査の結果を受けて 学習規律・家庭学習の取り組みについて		滝島			
教育課程環流報告 一校一実践について		各担当			
学習会 「主体的・対話的で深い学び」について		滝島		10月	○
授業案検討		古屋	5年		
全国学力・学習状況調査の分析		滝島			
研究授業		古屋	5年	7月	○
ふるさと学習発表内容と発表について		滝島			
h-QUの結果をふまえて 今後の取り組みについて検討		各担当	全		
研究集録について 研究の成果と課題		滝島			
研究のまとめ		滝島			